

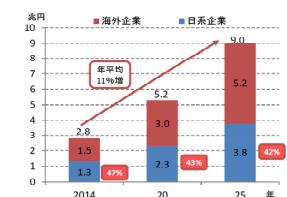
センシングシステム研究センターの取り組み

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
センシングシステム研究センター
(九州センター)

副研究センター長 田原竜夫

- ◆センサ市場は2025年には約10兆円規模に達する巨大産業
- ◆日本企業が国際競争力が高い

センサ市場の成長と日本シェア



センサ市場の分野別規模と成長率



センシングシステム研究センター

【概要】

- ・情報に基づく産業の拡大を推進するため、情報取得ツールとしてのセンシング技術の最適活用を実現するための**センシングシステム技術の開発**および**社会実装、評価基準等の産業基盤技術提供**を行う。

【技術開発】

- ◆ **社会システム構築に向けた技術開発**
 - ・スマート社会推進 → 「自動化、IoT化」
 - ・社会課題(高齢化、安全等公共課題)の解決 → 「人・生活情報活用」
- ◆ **産業基盤整備のための技術開発**
 - ・産業競争力強化 → 「新原理材料、プロセス、デバイス」
 - ・産業活性化支援 → 「評価・診断」

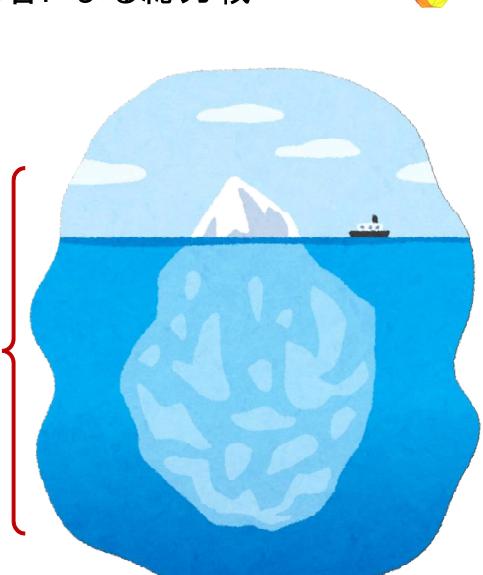
幅広い研究者による総力戦

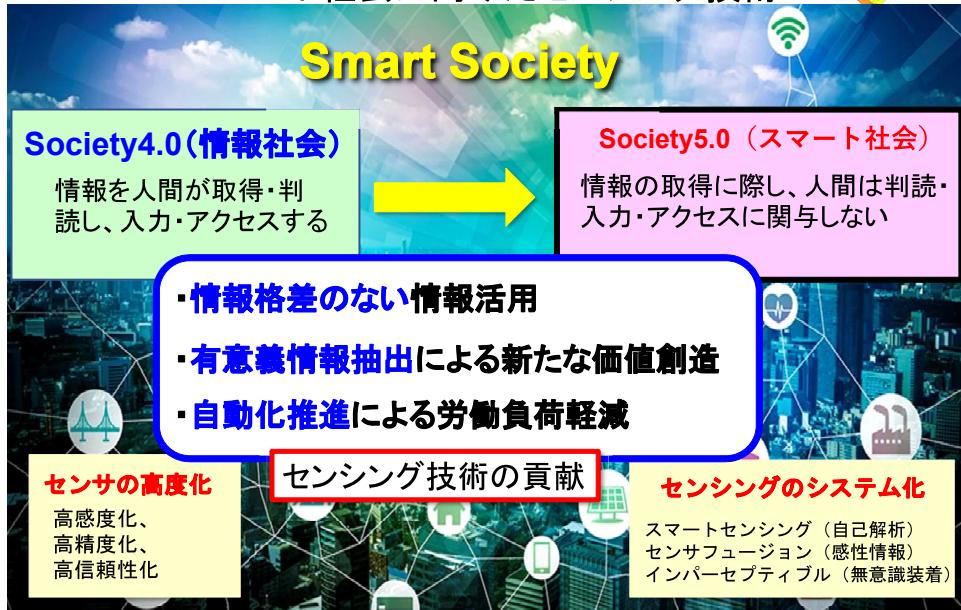
私の勤務地

九州の20人
センシングシステム研究センターの50人

産総研のセンター関連研究者
少なく見積もって300人

要素技術から実装まで、
研究所を挙げて取り組んでいます

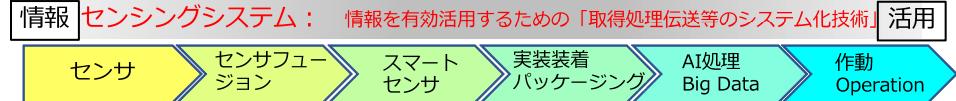
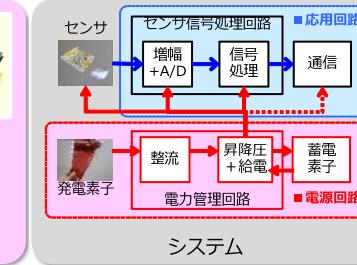




センサ：
現象を捉える部分・部品。

センシング：
有意義データを取り出すこと。

センシングシステム：
有意義データを取り出すシステム。



センシングが創る未来社会

未来予知・予測によって生み出される
新価値・新サービス

既に始まっている・もう始まりそうなサービス・価値提供例

病院でのシックケアから
健康を保たせるサービス
健常者の健康(ヘルス)ケア

予防保全、危険回避、物流・
交通予測、効率化、人手不足
解消、スマート在庫管理

きめ細かい災害予知・
避難支援、感染症予防

品質・収量保証、高付加
価値、効率化、圃場管理
のサービス化

ヒト
センシング



モノ
センシング



環境
センシング



農業
センシング



時間

未来予知

高密度高速化

リアルタイム

高速化

高感度

高信頼性

ポイント
リアリティー

センシング技術ロードマップ～私たちの目線

移動・遠隔
異空間

ハイパー
リアリティー

感性情報

スペース
リアリティー

拡張リモート

透過

内部
遮蔽部

マルチバンド

6G通信

五感情報

パラサイト

マルチモーダル

高密度

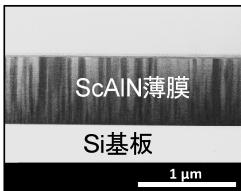
広域

フレキシビリティ

二次元構造

三次元構造

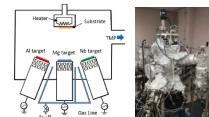
現象を信号に変える「センサ材料」



圧電性能を飛躍的に向上させた
スカンジウム添加窒化アルミニウム圧電薄膜
(Sc-AlN)を(株)デンソーと共同開発(2008)



- ✓ iPhone X以降の高周波フィルタに採用
- ✓ 21世紀発明奨励賞 受賞(2018)

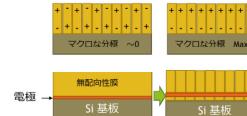


① 成膜条件最適化技術

少数の実験データから**実験計画法**によって**成膜パラメータを最適化**。
(各ターゲット印加電圧、ガス圧、窒素ガス濃度、基板温度)

② 配向制御技術

- ①基板表面
- ②適正なスパッタ圧と基板温度
- ③**不純物制御**
- ・分極方向の制御 ←
- ・各種電極材料上への配向膜の成膜 ← 適切な界面制御



③ 計算シミュレーション技術

- ・**精密なモデル**構築技術と第一原理計算技術による物性値推定。
- ・計算熱力学(CALPHAD)技術による材料(バルク・薄膜)の熱力学状態評価。



圧電材料のセンサー応用

既存の設備やプロセスを対象に、従来認識できていない
不具合(異常)やその兆候を検知するためのシステムづくり

- AEセンサを始めとする各種薄膜圧電センサ
- センシングデータ活用手法(機械学習)

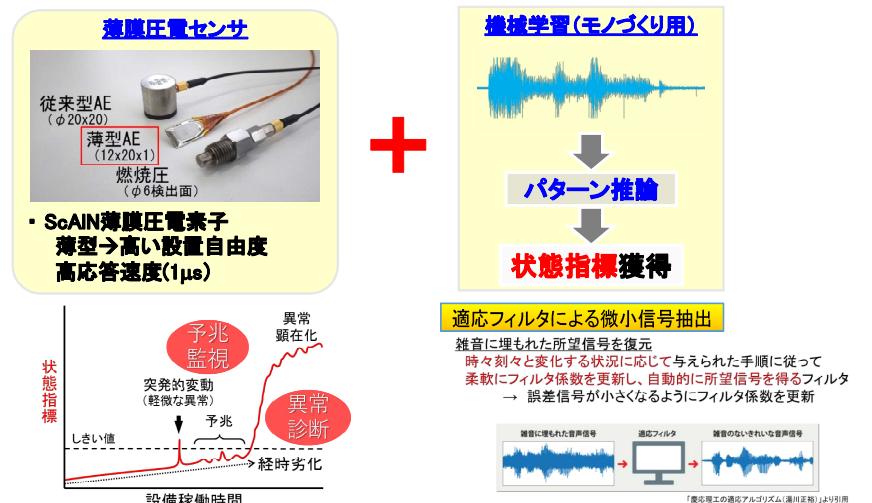
- 不具合や兆候をもとにした診断・監視技術構築
- 材料起因⇒その異常や兆候を抑える材料の提案

- スパッタ薄膜制御技術
- スパッタ源の開発

こんな技術開発が隠れています

生産ラインでの加工不具合品流出防止技術の開発

【目的】多くの正常品が流れる生産ラインで、多様な形態で少量発生する異常を検出。
→センシング技術と良品学習をベースとする機械学習による異常検知技術の開発と実装



- 静電気=いつ・どこに生じるか分からない
- 計測技術がなかったので、予測もリスク評価もできていなかった
- 静電気スキャナを開発。可視化データによるAI予測、さらに積極利用へ

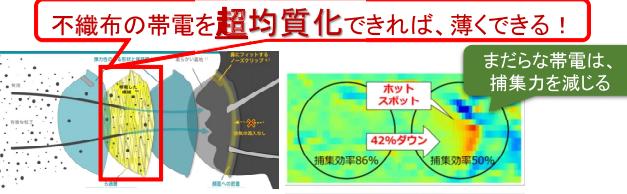


2017年6月6日発表



2022年6月2日発表

N95医療用マスクを、呼吸しやすく、会話しやすいものへ



これまで: 帯電品質の悪い方に合わせて厚みで捕集力を保証していた
マスクの生産工程に本機器を導入することで、初めて
「帯電品質」の保証が実現

SSDB

産総研センサ・センシング技術データベース

産総研のセンシング関連技術を完全収載したデータベース

<https://aist-sensing.jp/>

産総研技術タイトル・キーワードを簡単検索。

気になる案件が見つかったら、すぐにお問い合わせ。
担当コーディネーターが詳細情報をご提供します。

センサ・センシング関連のマーケティング戦略、研究戦略

FIoTコンソーシアム

[HOME](#) [運営会則](#) [入会のご案内](#) [分科会](#) [法人会員様一覧](#) [お問い合わせ](#)

FIoTコンソーシアム 入会のご案内

ご入会までの流れ

